

「多文化共生 MIRAI 会議 in 信州」を 11月22日(土)に開催します!

県内の在住外国人数は約4万7千人(令和6年末時点)で、10年前の約1.5倍に増加する中、国籍や文化などの異なる人々が、違いを認め合い多様性を尊重する多文化共生社会の実現が一層重要となっています。 こうした現状を踏まえ、多文化共生意識の啓発及び醸成を目的としたイベントを開催します。

1 内容

第1部:実践から学ぶ多文化共生 ~多文化共生のリアルと可能性~

4名の登壇者による発表とパネルディスカッション

- ・ 酒井 信幸 氏 (サン工業株式会社 取締役)
- ・イェリマ 自由理 氏 (JICA 海外協力隊 OV、助産師)
- ・イェリマ モーリス 氏 (ベナン共和国出身、伊那市消防団員)
- ・原 レティシャ 氏(フィリピン共和国出身、飯田市外国籍児童生徒共生支援員)

第2部:「未来の信州を考える」~2050年を想定して~

今から 25 年後、「こんな未来になってほしい」を語り合い、「そのために私たちは何ができるか」を、参加者全員で考えます。

2 対象者

多文化共生や異文化理解に興味関心がある県民の皆様

3 日 時

令和7年11月22日(土)13:00~16:30

4 場 所

産業と若者が息づく拠点施設 (allla アルラ) (伊那市荒井 3428 番地 7)

5 申込方法

定員 40 名 (先着順) / 参加無料

11月19日(水)までに右の二次元コードからお申込みください。

接続: 伊那市(公計)投票自開作場合 (あた) 長野県 新聞せ、民政の経済民政報等を必要を 開始せ、民政の経済民政報等を受ける 926-255-7132/ tabunkaのpref.nsgamo.lg/p

11/22

13:00~16:30 alllaアルラ

参加無料 共生社会のヒントを、 知って・感じて・考える1日に!

・酒井信幸 氏

/ショップ e州を考える」 ・原レティシャ 氏

【多文化共和主はヤ】 同様や開発とこの限さる人とが、高いの文化物造いを飲め合い、別様の関係を通じるとしたがら、お物社会の構成更として 計れたなでいてこと。 個総名:多文化共和の権権に関する創立会報告第より「

> 200 締切 定員40名 回転 11/19

6 取 材

取材を希望される場合は、11月21日(金)までに(問合せ先)までご連絡ください。

【多文化共生とは?】

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

(総務省:多文化共生の推進に関する研究会報告書より)

令和8年(2026年)、

長野県は 150 周年を迎えます



(問合せ先)

担 当 県民文化部県民政策課多文化共生係

小林

電 話 026-235-7132 (直通)

026-232-0111 (代表) 内線 2520

F A X 026-235-7284

E-mail tabunka@pref.nagano.lg.jp